

○2番（阿部裕和君）

承知いたしました。ありがとうございました。

○議長（松尾徹郎君）

以上で、阿部議員の質問が終わりました。

暫時休憩いたします。

再開を15分といたします。

〈午前11時10分 休憩〉

〈午前11時15分 開議〉

○議長（松尾徹郎君）

休憩を解き、会議を再開いたします。

次に、田中立一議員。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

田中議員。〔12番 田中立一君登壇〕

○12番（田中立一君）

市民ネット21、田中立一でございます。

発言通告にのっとり、一般質問を行います。

1、能登半島地震の検証と今後の対応について。

1月1日の能登半島地震では、糸魚川市内も最大震度5強を観測する地点もあり、各地で甚大な被害が発生した。

いまだに余震と見られる揺れも続いており、さらに「佐渡沖には今回の地震で動かなかった断層もあり、今後大きな地震が発生してこの断層が動いた場合、非常に短時間で大きな津波が寄せる可能性がある」と警告を発している専門家もいる。

今回の地震を検証し、今後の地震とそれに伴い発生する津波への対応に備え、どのように取り組むのか以下伺う。

(1) 警報の発令について。

① 避難指示について、今回発令しなかった理由を伺う。

② 避難指示発令の基準見直しと対応を明確にすべきと思うが考えを伺う。

(2) 公共施設の耐震性及び安全性について。

① 公共施設の耐震調査はできているか。特に地震及び津波対応で指定されている避難場所と避難所についてはどうか伺う。

② 今回の地震で課題となっている液状化について、発生する可能性があると思われる土地の把握とその地盤調査に対する考えを伺う。

③ 同じく課題となっている擁壁の「空積み」について、同様の調査を行うか考えを伺う。

(3) 避難場所及び避難所について。

① 避難場所に指定されている施設に入れないで混乱が見られた。また中に入れても寒さで風邪を引かれたなど、体調を崩された方や情報がなく不安だったという話も聞く。どのように改善するか考えを伺う。

② ペットの同行避難について。

今回の地震によるペットの同行避難についての状況と避難場所での対応をどのように把握しているか伺う。

(4) インクルーシブ防災について。

① 糸魚川市のインクルーシブ防災についての基本的な考えを伺う。

② 今回の地震で明らかになった福祉施設及び入居者の安全確保で課題と対応を伺う。

③ 福祉避難所の設置についての考えを伺う。

2、能登半島地震の一次産業への被害について。

農林水産業へ与えた被害と影響について、以下伺う。

(1) 農道や農地、用水等への被害と春の耕作への影響について。

(2) 林道や林野の崩落等の被害と影響について。

(3) 漁港、漁船、漁具等の被害と漁獲高への影響について。

3、能登半島地震による文化財及び神社等の被害と対応について。

(1) 市内文化財の被害状況を伺う。

(2) 各地の神社で建物や境内に被害が多く見受けられる。地域住民が集まったり、よりどころとなる重要な施設であるが、集落は過疎化・高齢化が進み、復旧が重い負担となっているが、被害状況の把握と対応について、考えを伺う。

以上、よろしくお願いいたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

田中議員のご質問にお答えいたします。

1番目の1点目の1つ目につきましては、日本海側の津波は、到達する時間が短いという特徴があり、避難指示を待つことなく避難するよう、防災行政無線等により呼びかけたものであります。

2つ目につきましては、津波警報以上が発表された場合は、まずは、より高いところへ避難いただくよう周知しております。

2点目の1つ目につきましては、法律で耐震診断が義務づけられている公共施設は、避難場所や避難所も含め、診断が済んでおります。

2つ目と3つ目につきましては、今後、詳細な調査を行ってまいります。

3点目の1つ目につきましては、避難場所が市の施設である場合は、希望する地区に鍵の保管をお願いし、職員以外でも解錠できるよう進めております。

また、課題につきましては、地区と協議を行ってまいります。

2つ目につきましては、ケージをお持ちでなかった方やペットと車の中で待機された方もおられたと聞いております。

4点目の1つ目につきましては、避難行動要支援者避難支援プランにより、取組を進めてまいります。

2つ目につきましては、各施設において、災害の種類や規模に応じて実効性を確保できるよう、災害時行動マニュアルの見直しや訓練を実施していただくよう指導してまいります。

3つ目につきましては、福祉避難所を含め、より安心して避難できるよう体制づくりを進めてまいります。

2番目の1点目と2点目につきましては、畦畔の決壊や農道のり面の崩壊、林道への落石等の被害を一部確認しておりますが、積雪により全ての確認はできておりませんので、確認ができ次第、春からの耕作や森林施業に支障が生じないよう、早期の復旧に努めてまいります。

3点目につきましては、漁港護岸の破損や漁船の損傷、漁具の流出等の被害を確認しているところであり、漁獲等については、今後の推移を注視してまいります。

3番目の1点目につきましては、市内の指定文化財について聞き取り調査を実施し、6件の被害を確認しております。

2点目につきましては、行政からの補助制度はございません。

以上、ご質問にお答えいたしました。再度のご質問によりましては、所管の部・課長からの答弁もありますので、よろしくお願ひ申し上げます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

田中議員。

○12番（田中立一君）

今回、能登半島地震関連について、発言通告を見て、ご覧のとおり、これ1本で通告させていただきました。といっても、もう一般質問3日目で、12番目となったということで、私の中での当初の予定が大きく変わりました。できるだけ同じ質問は避けて、別の角度といたしましょうか、視点からやらなければなと思って頑張りますので、皆さんお付き合ひのほう、よろしくお願ひいたします。

それで、まず、全員協議会で避難指示の発令についてなんですけれども、避難指示について、全員協議会で私は何で発令しなかったかということを知ったら、市民の混乱を避けるため、また、その後のいろんな委員会での質疑では、津波警報により皆さんがご自身で身の安全を確保していただく。避難指示を発令する際には、避難する範囲などを決めてからということなので時間がかかると言われたんですけれども、このときの、まず、冒頭の混乱というのは、どのようなことを想定されたの混乱だったんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

竹田消防長。〔消防長 竹田健一君登壇〕

○消防長（竹田健一君）

お答えいたします。

混乱を避けるというのは、私、答弁したというふうに記憶をしております。そんな中で、Jアラート、地震・津波発生した際に、皆さん適切などいいますか、高台を目指して避難行動をしていた

だいている。その後で避難指示というキーワードで、過去にもこの地震・津波ではないんですが、例えば大雨の際に避難指示という言葉聞いて、実際には自宅にとどまっていた正解だったんですが、屋外へ出たためにけがをされた、あるいは亡くなられたと、これ県外の事例なんです、そんなことがちょっと頭をよぎりまして、市民が混乱するんじゃないかといったようなところで、市長から、ご判断いただき、避難指示を発令せず、最初の地震・津波情報により、避難をいただいたといったところです。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

田中議員。

○12番（田中立一君）

分かりましたけども、避難指示の発令は、私は市長マターかと思っているんですけれども、ちょっとその辺の確認をさせてください。今、消防長から答弁いただいたんですけれども。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

竹田消防長。〔消防長 竹田健一君登壇〕

○消防長（竹田健一君）

お答えいたします。

避難指示の発令につきましては、災害対策基本法に基づきまして、市町村長が発令をするという規定になっております。

ただ、市長が全部判断するというのはなかなか難しいところもあろうかと思っておりますので、やはり市長に助言といいますか、する職員というのも必要ですので、そういったことで市長に進言いたしまして、判断いただいたといった流れになります。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

田中議員。

○12番（田中立一君）

それで、避難指示を発令した場合と発令しない場合とで、市の対応というのは何か違いがあるんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

竹田消防長。〔消防長 竹田健一君登壇〕

○消防長（竹田健一君）

お答えいたします。

避難指示を発令する場合には、全員協議会でしたか総務文教常任委員会でしたか、まず、対象範囲を決定し、避難所確保した上で発令、それが同時進行になる場合もございますが、そういった流れで避難指示を発令することになっております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

田中議員。

○12番（田中立一君）

避難所ですか、避難場所じゃなくてね、ちょっと今その辺の混乱が、これまでの質疑の中で随分あるんですけども、今は避難所と言われたように私聞こえたんですけども、結局、避難指示を出さなかった場合の、今までこれ何人かの議員がやり取りした質疑の中で、非常に何ていんでしょうか、出さなかった場合による混乱というものが非常に多かったように思うわけです。最初の答弁による、命がどうか部屋とかと言われるとどうしようもないんですけども、やはりそれを踏まえた中で避難指示が出せる状態が大事じゃないかなど。いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

竹田消防長。〔消防長 竹田健一君登壇〕

○消防長（竹田健一君）

お答えいたします。

避難指示、当日は避難指示を発令しませんでした、その対応につきまして、私100%正しかったとは言い切れません、結果、やはり逆な混乱を招いたというのもございますので、そんな中で、今後につきましては、ほかの議員の皆様にお知らせしたとおり、まず、地震・津波が発生した際にはJアラートで自動的に放送する。その後、職員によりまして、防災行政無線、あるいは安心メールによりまして、その際に避難指示を発令させていただく。

ただ、避難指示を発令する場合には、対象地区がどこなのかといったことが分からない。また防災行政無線で地区を、例えば10何か所言っていたんでは、最初のほう分からないといったこともありますので、あらかじめ指定させていただき、地区にもお知らせした中で、避難指示というキーワードが出たら避難しなければいけないとか、そういったような対応を今、検討しておるところです。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

田中議員。

○12番（田中立一君）

県内には12の市町村が沿岸部にあつて、津波警報の発表によって避難指示を出したのは、新潟市、上越市、新発田市、柏崎市、佐渡市、出雲崎町の6市町。逆に、避難指示を出さなかったのは、長岡市、糸魚川市など6市町村と言われます。

その中で、長岡市は、いち早くこの地震の後、避難指示を発令する基準を津波警報以上と定めるとともに、自動音声などで避難を呼びかけたことをもって避難指示を発令したとする運用に変更すると発表しました。これによって、発令の手続を行う時間を短縮して、基準を明確化したというふうに報道にありました。

糸魚川市は、距離も面積も海に近いところがたくさんありまして、なおかつ今回のような震源地との距離も新潟県の中で一番近いんじゃないかと思うわけですが、これの対応について、これでよかったのかどうか、もう一度伺いたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

竹田消防長。〔消防長 竹田健一君登壇〕

○消防長（竹田健一君）

お答えいたします。

議員おっしゃられる6市町村が出した、6市町村が出さない、出さない中には糸魚川市も入っていると、報道等で存じ上げております。そんな中で、やっぱり避難指示を出した場合に、いかに避難しなければいけない方から避難していただくか、これが大事になりますので、長岡市、本で行っている取組、発表される前に、実はこういったこともできないかなといったところを考えておまして、また、市長、副市長にも相談していたところなんですけど、糸魚川市独自の形になるのかなと思っておりますが、早急に検討いたしまして、そのような取組を進めていきます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

田中議員。

○12番（田中立一君）

ぜひこういう取組を参考にして、やはり瞬時にらせる体制、明確化が必要なんじゃないかなと思います。今もう今回のことは、別に批判しているわけでもなくて、今後の中で、やはり早く指示を出して、早く避難場所、避難所を設定して、安全に市民の安全を守ることが大事だと思いますので、今、副市長と話をされているということなので、今後の対応に期待したいと思います。

同じことの繰り返しの聞き方になるかもしれませんが、結局、避難指示が出なかったために避難していった場所で、市民と、あるいは市役所の職員との間にいろんなやり取りがあった。避難場所を開けてあったりとか開けてなかったりとか、トイレが使えたりとか使えなかったとか、あるいは、また職員との間の温度差や何かを考えた違いが結構見受けられたんですけども、その辺の把握というのはされてますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

竹田消防長。〔消防長 竹田健一君登壇〕

○消防長（竹田健一君）

お答えいたします。

全てではございませんが、海岸沿岸部の聞き取り調査の中で、今、議員おっしゃられた職員とのというような話は聞いております。そんなところで、職員も全てが勤務諸所に登庁していたわけではございませんし、また地元に残って避難所対応されたといったような職員もいたとも聞いております。そんなところで、今後、職員の体制、要は避難された方とトラブルまではいかないんですけども、そういったことにならないような、また体制をつくっていかねばいけないと考えておりま

す。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

田中議員。

○12番（田中立一君）

職員の方もね、元日早々のあれで大変ご苦労されて、大変なことで、何て言ったらいいのかな、状況だったということは理解しておりますし、今後において、こういった基準等を見直したり、発令の在り方を見直す中で、職員、あるいは市民のほうに周知する努力というものも、また改めてやっていかなければいけないかなと思いますので、その辺よろしくお願いします。

（2）の公共施設の耐震性。

当たり前のことを確認しますけれども、公共施設に限らないと思うんですけども、建物を新築する場合は、耐震基準というものを必ずクリアして建てているというふうに理解してよろしいでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

五十嵐都市政策課長。〔都市政策課長 五十嵐博文君登壇〕

○都市政策課長（五十嵐博文君）

お答えいたします。

新しく建物を建てるですとか、今ある建物がある程度一定規模以上に大幅に改築するとか、そういう場合には、今の建築の基準で、その建物の構造が成り立ってなければいけませんので、そういう意味では、新しく建てるときには今の耐震化、今は2000年基準と言われておりますけど、その基準で建てられているというふうに一般的に理解してよろしいかと思えます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

田中議員。

○12番（田中立一君）

先ほどの市長答弁では、全部耐震診断が済んでいるというのは、いつの耐震基準に合わせてあるんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

山口財政課長。〔財政課長 山口和美君登壇〕

○財政課長（山口和美君）

お答えいたします。

今把握しておりますのは、昭和56年に新耐震基準ということで一斉に通知等がございまして、また、国のほうからも指示がありまして、確認するようというところで、また報告義務も課されておりました。平成25年にも耐震の改修促進法の改正がございまして、そこで耐震診断を行い、報

告の義務づけという形でなされておりましたので、今の基準としては、25年のときに把握をしたもので今考えております。

すいません、平成25年のときに一齐に報告義務がございましたので、そこで調査のほうをかけた内容になっております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

田中議員。

○12番（田中立一君）

平成25年、いわゆる2000年ですか、の耐震基準に全部合ってるということですね。すいません、はっきりそれだけ言ってもらえばいいんですよ。

○議長（松尾徹郎君）

暫時休憩いたします。

〈午前11時36分 休憩〉

〈午前11時37分 開議〉

○議長（松尾徹郎君）

休憩を解き、会議を再開いたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

山口財政課長。〔財政課長 山口和美君登壇〕

○財政課長（山口和美君）

失礼いたしました。

平成25年の基準で、調査のほうをかけさせていただいて、結果も公表させていただいております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

田中議員。

○12番（田中立一君）

それでは、発言通告に出してあるように、公共施設、ちょっと幾つか例を出して聞かせていただきたいと思いますが、まず、能生地域ですので、能生地域の住民で、いろんな高台へ行ったんですけど、そのうちの 하나가、太平寺にあります布引へ行ったわけですね。ここで布引グラウンドに行って、野球場にあるトイレを使いたかったけど使えなかったという不満も聞いているんですが、それはいいとして、その近くにある青年の館、これのほうは耐震基準は、じゃあ今のあれで、できているというふうに考えてよろしいでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

山本生涯学習課長。〔教育委員会生涯学習課長 山本喜八郎君登壇〕

○教育委員会生涯学習課長（山本喜八郎君）

お答えいたします。

青年の館につきましては、建築されたのが1988年でございますが、新耐震基準後の建物でございますが、耐震調査につきましては、あそこの建物、ログハウス部分と一般の木造部分ということで、木造部分については、平成21年に耐震調査のほうをしております。ログハウスの部分については、調査のほうはしておらないような状況でございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

田中議員。

○12番（田中立一君）

半分調査して、半分してないということで、その調査も平成21年、ということは、平成25年の耐震には、どうなっているかが分からないということでしょうか。さっきの話では、全部済んでるという話だったんですが。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

山本生涯学習課長。〔教育委員会生涯学習課長 山本喜八郎君登壇〕

○教育委員会生涯学習課長（山本喜八郎君）

お答えいたします。

青年の館の建物自体は、確かに平成21年、今ほど私答弁したとおりなんですけど、あそこの建物自体が、今、避難指定場所及び指定所には指定されていない建物でございますが、確かに建築から35年たっておるんですが、今後につきましても、今の特に西能生地区の方々が、洪水ですとか土砂災害のときの一時的な避難場所ということになっておりますので、建物については、私も注視をして、しっかり監視等をしてまいりたいというふうに思っています。

また、耐震調査、今平成21年にやったということなんですけど、その平成25年のときの基準とどうなっているかというのも、しっかり確認をしてまいりたいというふうに思います。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

山口財政課長。〔財政課長 山口和美君登壇〕

○財政課長（山口和美君）

補足させていただきます。

ちょっと私の先ほどの答弁もあやふやで申し訳ございません。

新耐震基準につきましては、昭和56年から新耐震基準という形になっております。平成25年には促進法、耐震改修促進法が施行されて、そこで耐震診断を行い、報告しろという義務づけが行われたので、それに基づいて報告をしたものになります。ただいま山本課長答弁いたしましたが、それ以前に診断のほうはしてあるという形で捉えていただければと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

田中議員。

○12番（田中立一君）

いずれにしても、私もつい二、三年前でしたか台風のときに、うちの桂地区の住民が避難していききました。今回は地震だけでも、今回も誰かが利用したんじゃないかと思うんですよね。やはりそこが指定してありませんとか、あるいは耐震基準のほうは半分だけですか、そういうあやふやなものでは、皆さんはそこを頼りにしていますし、今でも結構いろんな方が使っておりますので、早急にその辺の調査と安心して使えるように、できるもんなら指定、またしてもらいたいと思うんですけれども、その辺の考えはいかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

山本生涯学習課長。〔教育委員会生涯学習課長 山本喜八郎君登壇〕

○教育委員会生涯学習課長（山本喜八郎君）

お答えいたします。

今ほど田中議員のほうからもおっしゃられたように、やはり施設をしっかりと、健全な施設で運営できるように、そういった必要な調査等は行ってまいりたいというふうに思っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

田中議員。

○12番（田中立一君）

よろしく申し上げます。

次に、市民会館なんですけれども、市のホームページでは、津波時の指定緊急避難場所74か所あって、その中に市民会館があるんですけれども、市民会館の耐震基準、あと、ほかにいろいろあるんだけど、全然表示丸になっていないんです。ほかのところは全部丸なんですけれども、これは、耐震基準はどうなっているのでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

嵐口文化振興課長。〔教育委員会文化振興課長 嵐口 守君登壇〕

○教育委員会文化振興課長（嵐口 守君）

市民会館はリニューアルいたしまして、耐震基準を満たしております。それで丸がついていないというのは、この区分が緊急避難場所でしょうか、そのためだと考えられます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

田中議員。

○12番（田中立一君）

それにしても、これ平成30年ですので、リニューアルした後ですよ。こういうのはやっぱり、

ちゃんとしっかり耐震基準ができていいるなら、しっかり示すべきだと思うんですけども、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

嵐口文化振興課長。〔教育委員会文化振興課長 嵐口 守君登壇〕

○教育委員会文化振興課長（嵐口 守君）

もう一度、表紙を見直しまして、修正いたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

田中議員。

○12番（田中立一君）

やはりホームページ見ると、糸魚川市のホームページで糸魚川市の避難所、これを検索しますと、すぐに糸魚川、青海、能生、各地域の避難所が、指定避難所が出てきます。その中で、ちょっと気になったのが浦本地区公民館、それから中能生地区公民館がペケになっている。このことは確認されていますでしょうか。

○議長（松尾徹郎君）

暫時休憩いたします。

〈午前11時45分 休憩〉

〈午前11時47分 開議〉

○議長（松尾徹郎君）

休憩を解き、会議を再開いたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

竹田消防長。〔消防長 竹田健一君登壇〕

○消防長（竹田健一君）

お時間を頂き、大変申し訳ありませんでした。

私、ホームページのほうを確認しないで今、地域防災計画の資料編を確認しまして、耐震基準が丸になっていたものでしたが、今ホームページの内容を確認しましたら、確かに田中議員おっしゃるとおりですので、ホームページのほうは、早急に修正させていただきます。大変申し訳ありませんでした。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

田中議員。

○12番（田中立一君）

そうなんですよね。ホームページのほうは、全然これ更新されていない。だから一致していないんですよ。私もぱっと見ただけのもので、プリントアウトしてあれなんだけど、一個一個見るといろいろあるんじゃないかなと。

中能生地区公民館は、最近新しくして、これ住所を見ると昔の建物ですね。浦本地区公民館のことは、私よく分かりませんが、これ一致していない。それで、もう今まで気がつかないというのは、ちょっと問題じゃないかなと。これは市外の人やなんかは、防災ハンドブック、あるいはハザードマップを紙で渡される市民はともかくとして、市外の人や何かは、あるいはまた若い人たちはみんなネットですぐ検索します。一致していないというのは、少し問題ですよ。どのように捉えますか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

竹田消防長。〔消防長 竹田健一君登壇〕

○消防長（竹田健一君）

お答えいたします。

今回の件も含めまして、ホームページの見直し、というのは遅れる、あるいは不一致ということはあってはならないことですので、今後、今後というより今から改善するように努めてまいります。以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

田中議員。

○12番（田中立一君）

もう少しこれ続けさせてもらいます、申し訳ないけど。

これは指定避難所の、あるいは避難所の検索で出たんですけれども、分かりやすくご丁寧に市のホームページを見ると、eマップがあって、それが地図に全部、避難場所が、あるいは避難所が分かりやすく、これは丁寧にやっておりますけれども、例えば能生体育館、これを私はぱっと見たときに、海拔が、能生生涯学習センターと同じ高さになってるからおかしいなと思ってクリックしてみたら、昔懐かしい体育館の、上にあった体育館の画像が出てきました。今の能生体育館じゃないんです。たくさんあるから、恐らくほかにもいっぱいあるんじゃないかと思うんですけれども、eマップの管理というのは、どうなっているんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺総務課長。〔総務課長 渡辺 忍君登壇〕

○総務課長（渡辺 忍君）

お答えいたします。

恐らくそのeマップについても、いわゆる資料として古いデータがそのまま載っておるかと思っております。大変申し訳ございません。

ただ、この管理につきましては、やはり全部総務課でというわけにはいきませんので、各課において直したり修正をしてというふうをお願いしているところでございまして、先ほど消防長も答弁

いたしました。いま一度、改めて確認を行った上で、新しいものに随時直していきたいというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

田中議員。

○12番（田中立一君）

中能生地区公民館も、それから能生体育館も、移動した場所はすぐ僅か、大体のところ分かるんですけども、やはり不一致というのは、ホームページの中で、しかも市のバナーを貼ってる中であるというのは、しかも、特に東日本大震災以降、非常にこういう災害に対して敏感になっていて、実際、今回のような災害が起こっているわけで、それからもう1か月、2か月たとうとしている中で、さんざん、この3日間の間も、一般質問で皆さんほとんどみんな取り上げてくる。そういう状況の中で、多くの人が見るであろう情報が一致していない、あるいは古くて全然更新していない。ちょっと市の本気度が問われるんじゃないかなと思われるんですけども、これ明確にしっかり取り組む言葉を責任ある立場の人が言ってもらいたいと思うんですけども、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺総務部長。〔総務部長 渡辺孝志君登壇〕

○総務部長（渡辺孝志君）

では、私のほうからお答えさせていただきたいと思います。

今回震災があって、いろんなところがありました。避難所のところも非常に数が多いというのがありますが、しっかり、この際ですので見直しをしっかりとっていくというのは、議員からご提言頂いたことでありますので、改めてこの防災計画と、あとホームページ、ホームページが一番市民が、一番その情報を見に行くところだということは我々も思っておるところなんです。改めてそこら辺の整合性は、しっかり取ってまいりたいと思いますので、これは即やらせていただきたいと思います。ありがとうございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

田中議員。

○12番（田中立一君）

市のホームページというのは、市民もそうですし、市外の方もそうですし、一番信用して見るものだと私も思ってるわけです。アクセス数も多いんじゃないかなと思います。

そういうことで、これ以上そんなに、このことについてあれですけども、この点は私も、実際何人か、複数の方から指摘していただいたところなので、ここはしっかり強調させてもらいたいなと思いますので、どうぞ対応をよろしくお願いしたいと思います。

次、液状化であります。

新潟地震、それから東日本大震災、こういった大きな地震で液状化現象が発生して、これが被害が非常に大きくなるのが分かって、課題になってまいりました。今回の地震でも、実際、市内においても発生して、大きな問題になっていると私も認識してるんですけども、普通、建物などの

構造物を建築する際、地質調査、あるいは地盤の調査というところを行うと思うんですけども、そのおそれがある土地に公共施設等を建てる場合には、新築する場合には、液状化の調査というものをするものなんでしょうか、いかがなんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

五十嵐都市政策課長。〔都市政策課長 五十嵐博文君登壇〕

○都市政策課長（五十嵐博文君）

お答えいたします。

公共施設を建築する場合には、当然その地質ですとか上からかかる荷重、地盤耐力の調査は、当然しますし、してまいりました。

ただ、そこに液状化、揺れて液状化が発生するリスクがというところは、今までの調査項目の中にはちょっと明示してなかったのではないかと今感じております。と申しますのも、人のせいにするわけではないですが、国が発表している地図では、糸魚川市の中ではそういう液状化のおそれが比較的低いエリアが糸魚川市全域の中に広がっていたというところで、新潟市のようなところは、新潟地震の状況は知っとるんですが、少し糸魚川市には無縁のところだというような観点があつたのかもしれないです。

ただ、今回こういう事象が当然発生しておりますので、例えば今回の中央区以外のような類似した地質の部分があつて、そこに公共施設がどうやって配置されているかというのは、この先、調査していく中では必要な観点だというふうに捉えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

田中議員。

○12番（田中立一君）

簡単に言うと、今までやってなかったということですね。液状化のことについては、全然心配してこなかったと。もし、これまでに何かやったことあるんだったら、また後でおっしゃっていただければ。

先日、昨日でしたか、の一般質問の中でも、中央区の液状化の話が出たときに、市内でもこういうのが発生するんだと改めて認識したというか、初めて知ったような発言だったのでちょっと気になったんですけども、そういうことなんで、全然今まで液状化について心配してこなかったし、やってこなかったということですね、いかがですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺総務部長。〔総務部長 渡辺孝志君登壇〕

○総務部長（渡辺孝志君）

議員のご指摘のとおりだと思います。なかなか液状化というところが、ほかでは事例としてありましたが、なかなか現実味で、私たちが今職員でいるところでは、なかなか経験があまりなかったというところがございました。今回は、改めてそういう事象があつたというところはしっかり受け

止めて、調査をしていくという市長答弁もございましたので、今後、公共施設の新たな設置については、土砂災害とかの警戒区域とか、そういうところばかりでなくて、やっぱり地盤というのが一番大事だというのが分かりましたので、今後改めてまいりたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

田中議員。

○12番（田中立一君）

国土交通省北陸地方整備局には、液状化しやすさマップというのがありますね、ご存じかと思うんですけども。

また、先ほどから話題にしました糸魚川市のホームページ、その中のeマップいといがわ、この中ずっと検索していきますと、液状化危険度、私も本当はこういったときに、これ出しちゃいけないのかもしれないけれども、これですね、色分けしたものが有りますよね、真っ赤になってるの。この色が濃いところが危険度が高いということなんですけど、今までの答弁を聞いてると、この存在も知らなかったのかなというふうに思うんですけども、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺総務部長。〔総務部長 渡辺孝志君登壇〕

○総務部長（渡辺孝志君）

なかなかそういったところに目が届かなかったというところは、もう事実として受け止めてまいりたいと思いますので、改めてそういったところの視野を入れて、今後、検討させていただきます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

田中議員。

○12番（田中立一君）

それはそれでいいんですけども、これどっからでもない、市のホームページの中の各種何とかサービスでしたか、一番下のほうにある。そのデータサービスの中で、ほかのどこから持ってきたんだったら、今のような答弁でいいんですけども、市のホームページの中から持ってきて、ずっといってると、あるじゃないと、いうから問題にしてるんですわ。というか、恐らくご存じなんだろうなと思って聞いているところなんですよね。いかがですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

竹田消防長。〔消防長 竹田健一君登壇〕

○消防長（竹田健一君）

お答えいたします。

議員おっしゃる糸魚川市のホームページに載っているものは、液状化のほか、揺れやすさだとか、もう一つあったかと思うんですが、平成22年にマップとして発行したものです。

以上です。

○議長（松尾徹郎君）

質問の途中ですが、暫時休憩いたします。

再開を1時といたします。

〈午後0時00分 休憩〉

〈午後1時00分 開議〉

○議長（松尾徹郎君）

休憩を解き、会議を再開いたします。

山本生涯学習課長から答弁を求められておりますので、この際、これを許します。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

山本生涯学習課長。〔教育委員会生涯学習課長 山本喜八郎君登壇〕

○教育委員会生涯学習課長（山本喜八郎君）

すいません、お時間を頂きまして、ありがとうございます。

午前中の答弁の中で、私、曖昧な答弁をしましたので、ここでまた、しっかりした答弁といたしましょうか、させていただきたいと思っておりますのでよろしく願いいたします。

まず、青年の館につきましては、1988年に建設された建物でございまして、新耐震基準を満たした建物でございます。

ただ、今回、大地震もありまして、その耐震だとかいろいろ心配する部分があるんですが、今後もしっかりと点検等をしながら、安心して利用していただけるよう、健全な施設運営に努めてまいりたいというふうに考えております。

以上でございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

田中議員。

○12番（田中立一君）

よろしくお願ひしますが、今の答弁だと新耐震基準の、先ほどの財政課長が言われた新耐震基準じゃなくって、1981年の新耐震基準をクリアしてるから、これは大丈夫なんだということでしょうか。ちょっとそれ確認させてください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

山口財政課長。〔財政課長 山口和美君登壇〕

○財政課長（山口和美君）

お答えさせていただきます。

私の答弁もちょっとあやふやなところがあって、申し訳ございませんでした。

今、56年の耐震基準、新耐震基準になるかと思うんですが、それ以降のものについては、もう基準を満たしているという捉え方をしております。ですので、今、山本課長が言いました56年以

降の建物でございますので、基準を満たしているという形で捉えていただければと思います。

また、ちょっと答弁のほうもまたはっきりしてなかったんですけど、公共施設という捉え方でいきますと、当然、古い建物、56年以前の建物もございます。そちらにつきましては、例えば大紅屋とか古民家に近いものもございますので、必ずしも全部が全部耐震基準を満たしているものではないと考えていただければと思います。

今回、話題になっております避難所、あと避難場所等の建物につきましては、耐震のほうは確認をしております。

ただ、その中でも基準を満たさないものがございます。そこについては、地震のときの避難はそこはしないという位置づけで計画のほうは立てておりますので、そのところをご理解いただければと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

田中議員。

○12番（田中立一君）

理解はしましたが、あんまりここで深入りしたり、時間を取りたくないんだけど、1点ちょっと気になるのが、当時の市長答弁は、そちらとの整合性はどうなるんでしょうか。もしその辺、訂正するならばっきりその辺も併せて訂正されたほうがいいんじゃないかと思うんですけども。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

山口財政課長。〔財政課長 山口和美君登壇〕

○財政課長（山口和美君）

質問が、診断はどうなっているかというご質問だったかと思います。市長答弁のほうにつきましては、法的に法律で耐震診断が義務づけられている施設につきましては、診断が済んでおりますということでご答弁をさせていただいております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

田中議員。

○12番（田中立一君）

その前に大きく公共施設ということで、特にということでやらせてもらってるんですが、あんまりこればかりやりたくないの、これでもう終わりにしたいと思いますが、やはり安心して、安全に使いたいなど。市民の誰もがね。その辺のところをしっかりとできているということで、理解したいと思いますし、また、そのようにお願いしたいと思いますので、よろしくをお願いします。

液状化、液状化のマップのことで、お昼前、竹田消防長のほうから答弁いただきました。平成22年がどうということは私にはよく分からないんですけども、よく一つの感想としては、それからずっと市のホームページに、平成22年ですから何年前ですか、更新あるいは見直ししないでそのまま載ってきたのかなというのが素朴な疑問であります。それが一つと、このマップを見ると、今回被災した中央区、それから京ヶ峰地区の団地の下のほう、その辺のやっぱり色が少し濃く

なっているので、あながちこういうのを、危険なあれは、ずれていないんじゃないかなと。さらに、教育相談センターが今回大きな被害を受けているということで、私、委員会が別だったから行ってなかったんだけど、最近行ってみたら、このマップを見ると、やはりその色の濃い近くにあるんですけども、あの状況は、ひょっとしたら液状化じゃないかなと思うんですけども、このマップと重ね合わせると、あながち外れていないなというふうに思うわけですが、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

磯野教育次長。〔教育次長 磯野 豊君登壇〕

○教育次長（磯野 豊君）

教育相談センターの件でございますが、議員ご覧になったとおり、昨日も私、答弁させていただいたんですが、液状化と見られる現象で、ご覧になっていただいたような被害が出ております。あそここの建物については、教職員組合のもとと建物で、そこが空いたということで、市が取得させていただいたところであります。今後については、今調査をしておりますので、私、昨日答弁させていただきましたが、ああいった状況になる土地で、子供たちが通ってくる施設がいいのかどうかというところは非常に心配なところもあります。そういったところも含めて、今後の対応のほうしていきたいというふうに思っています。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

田中議員。

○12番（田中立一君）

昨日の話のことも分かってはいるんですが、改めてこのマップとの整合性が、かなり信憑性があるといいましょうか、じゃないかという意味で聞いたつもりだったんです。気持ちはというか、そういうところは理解したつもりでいるんですけども、やはりこういうものがあつたら、新しい方法があればそれに更新してもらいたいし、これを基にしっかりと対応していただきたいというのが今回の趣旨でありまして、今後に生かしてもらいたいと。

やはりこのマップを見て気になったのは、復興市営住宅とキターレの駅北の開発している部分ですね。というのは、やはり最近になってから建てた大きな公共施設なわけなんですけれども、やはり合致してるかどうかはよく分からないんですけども、危険度の高い色分けのところに、近くに、あるいはそのものなのかもしれませんけども、あるんですけども、先ほどの答弁では、これまで液状化の調査はしたことがない意味の答弁をされたんですが、これ改めて、液状化の調査が必要なんじゃないかなと思うんですが、ただ、前に頂いた、この復興市営住宅を見ると300万円地質調査にお金を支払っているんですよね。300万円という大金を地質調査に払っているのを、これちょっと見てるんですけども、この中には液状化は入っていないからでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

五十嵐都市政策課長。〔都市政策課長 五十嵐博文君登壇〕

○都市政策課長（五十嵐博文君）

お答えいたします。

今回の復興住宅の設計成果の中の地質調査のところには、液状化の可能性というところで評価をさせていただきます。

ただ、先ほどの私の答弁は、一般的な公共施設に関して、液状化の評価と、その有無、対策というところを法的に義務づけというところがないものですから、あのように答弁いたしました。今回、キターレとかああいう大きな構造物で基礎構造をしっかり造るやつは、簡易的な試験ではなくてボーリング調査等をしておりますので、そういうときには当然、液状化の評価というものはしております。一律ではないという意味で、先ほど答弁いたしました。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

田中議員。

○12番（田中立一君）

じゃあまあ、液状化のこれは心配はないというふうに捉えていいのかなと。

ただ、私も頂いた資料のほうを見ながらなんだけども、確かにボーリングはされているんですけども、液状化に関するものは全然見当たらないわけなんですけども、その辺とこちょっと今、不安なんですけど、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

五十嵐都市政策課長。〔都市政策課長 五十嵐博文君登壇〕

○都市政策課長（五十嵐博文君）

お答えいたします。

私、今、田中議員持っておられる地質データを持っていないのですが、恐らくそこに地下水位の表記があるかと思えます、地下水位ですね。地下水位が、土質の中の砂層部分に対してどうかというところで、液状化の判定、そこに対しては大きな揺れが長時間続くかというところで評価できるものだと思いますので、そういう意味で、キターレの、復興住宅の場合には液状化の危険がないというふうな判定をしたものだというふうに私は理解しております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

田中議員。

○12番（田中立一君）

追加業務特別経費の算出内訳のその他で細かく書いてありますが、地下水位とか水の字は一つもないですね、306万円。

○議長（松尾徹郎君）

暫時休憩いたします。

〈午後1時12分 休憩〉

〈午後1時44分 開議〉

○議長（松尾徹郎君）

休憩を解き、会議を再開いたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

五十嵐都市政策課長。〔都市政策課長 五十嵐博文君登壇〕

○都市政策課長（五十嵐博文君）

大変お時間を頂き、申し訳ございませんでした。

復興住宅に関しまして、議員ご指摘のように土質調査等、調査業務をしております。その中で液状化のリスクという評価をしております、液状化の起きる可能性は軽微という判定なのですが、これは液状化というよりは、そもそも建物を建てる際に、その建物を支える基礎構造としまして、柱状改良というような、くいのようなものを施工しております。結果的に、建物を支えるくいもありますので、復興住宅に関しては、想定では、想定というか調査の結果では、液状化の可能性は低いんですが、仮に液状化があったとしても、そのくいのおかげで、液状化被害は免れるというような構造になっておるものでございます。

その次のキターレについては、今まだ調査できておりませんので、すぐ答弁することはできません。申し訳ございません。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

田中議員。

○12番（田中立一君）

ちょっと質問どうやっていったらいいのかが分からないところがあるんですけども、復興市営住宅のほうは、調べたら、はっきり液状化についての調査ということでやってあるのかどうなのかというのは、何だか言葉が多かったんですけどよく分からない。けども、何かこの工事の中でそういうふうな状態になってても大丈夫なような構造になっていると、そういうふうに理解していいんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

五十嵐都市政策課長。〔都市政策課長 五十嵐博文君登壇〕

○都市政策課長（五十嵐博文君）

お答えいたします。

シンプルに、調査業務の中で液状化に対する可能性の調査というのはしております。その結果については、液状化の可能性は低いというものでございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

田中議員。

○12番（田中立一君）

少し安心したと言っていいのかな、どうかあれなんですけれども、ただ、その後に、今度キターレを聞こうと思ったら、まだ答えられないという答弁なんです。今、私もキターレのほうの設計業務委託の、これ見てると、地質調査を行わないと書いてある。括弧して、調査結果を貸与するというふうに書いてあります。これはどういう意味でかなと。今、先ほどの答弁では、キターレのほうはまだ分からないということなんです、この部分に関して、もしお答えできたらお願いします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

五十嵐都市政策課長。〔都市政策課長 五十嵐博文君登壇〕

○都市政策課長（五十嵐博文君）

今、私の頭の中にあるイメージでは、既存資料を提供した、例えば復興住宅の、復興住宅のほう先ですので、復興住宅のときのデータですとか、防火水槽を地下にやりました。あれのときのデータ等を提供して、キターレの設計業務の中では、地質調査をやらなかったのではないかというふうに推測しております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

田中議員。

○12番（田中立一君）

また、そのことについては後でやりたいと思うので、しっかり調べておいていただきたいんですが、ちょっと質問変えると、今回、キターレに避難されてきた方はおられましたか、把握してますか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

竹田消防長。〔消防長 竹田健一君登壇〕

○消防長（竹田健一君）

お答えいたします。

キターレへの避難については、対策本部のほうでは確認取れておりません。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

田中議員。

○12番（田中立一君）

今、キターレについては、先ほど五十嵐課長が言われたように、地下に大きなタンクが入っているわけなんですけれども、このタンクというのは地震に対して、地盤としては、簡単に言うと大丈夫なものなのか、タンクそのものというよりも地盤地質としてそういうものはあっても、むしろこれは、こういうのがあるから大丈夫と言っていいのか、それとも、心配してるのはそれがあって、かえって揺れが大きくなって、あるいは液状化を誘発するとか、そういう心配はないのか、そういう話な

んですけど、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

五十嵐都市政策課長。〔都市政策課長 五十嵐博文君登壇〕

○都市政策課長（五十嵐博文君）

お答えいたします。

地下式のああいう防火水槽というものは、全国普通に一般的なものでございますし、あのものが、その上の建物とか周辺に悪影響を及ぼすということはないと思います。当然、質問にもありましたけど、物自体は耐震性を有しておりますので、揺れて、それが破損して、水が漏れて悪影響を与えるということもないもの、ない構造でございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

田中議員。

○12番（田中立一君）

今心配してる、最初のほうに少し触れたんですけども、要は、ああいうものが地下の中に入っ
てて、火事としては安心なんですけれども、地震として絶対大丈夫かというお墨つきが欲しいとい
う、平たく言うと、そういう感じの話なんですよね。いかがですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

五十嵐都市政策課長。〔都市政策課長 五十嵐博文君登壇〕

○都市政策課長（五十嵐博文君）

お答えいたします。

絶対という言い方は、技術屋としてはしたくないんですけど、地震によって悪影響を与えるもの
でない構造物でございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

田中議員。

○12番（田中立一君）

大丈夫というふうにあれなんですけど、また、いろいろと調べた中で、今後にまた教えていただ
きたいと思います。

その隣に備蓄倉庫があるわけなんですけれども、これは、たしか災害備蓄倉庫というふう聞いてる
んですけども、今回の災害においてこれは開放されたり、あるいは使われたりしたんでしょうか。
もし使ったとしたら、どんなものに、どんな用途に使われたんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

竹田消防長。〔消防長 竹田健一君登壇〕

○消防長（竹田健一君）

お答えいたします。

駅北の備蓄倉庫には、食料、飲料水以外の備蓄品が入っております。そんな中で地元の大町区の皆さんが、何かあったときに使ってくださいということで、先日の聞き取り調査の結果、使っていないという回答を頂いておりますので、使っていないものと思っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

田中議員。

○12番（田中立一君）

備蓄倉庫の鍵とか管理というのは、どちらでされているんでしょう。

○議長（松尾徹郎君）

田中議員、通告の範囲内をお願いいたします。

答弁できますか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

竹田消防長。〔消防長 竹田健一君登壇〕

○消防長（竹田健一君）

お答えいたします。

駅北の備蓄倉庫につきましては、当然、消防本部でも管理しておりますし、すいません、地元 ちょっとお預けしたかというのは、申し訳ないですが、ちょっと私、把握できておりませんので、もし、あれなら確認をさせてください。よろしいですか。

○議長（松尾徹郎君）

暫時休憩いたします。

〈午後1時53分 休憩〉

〈午後1時54分 開議〉

○議長（松尾徹郎君）

休憩を解き、会議を再開いたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

竹田消防長。〔消防長 竹田健一君登壇〕

○消防長（竹田健一君）

大変申し訳ありませんでした。

大町3区に鍵を預けてあります。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

田中議員。

○12番（田中立一君）

災害の備蓄倉庫ですからね、災害のときに使えないと、用途をあれだと思うんですけども、万一あそこは、海拔が低いように思うんですけどもね、あんまりこれを聞くと、議長が何かこう嫌な顔をするんじゃないかと思うんですけども、ちょっと言い過ぎたかもしれません。

津波に関しては、心配がないものなんでしょうか、海拔については。いざ使おうとしたときに、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

竹田消防長。〔消防長 竹田健一君登壇〕

○消防長（竹田健一君）

お答えいたします。

備蓄倉庫によっては、駅北広場ならず、災害種別によっては使えないといった場合もございます。そんな中で使えるところから備蓄品を、また、時間がたてば応援していただく物資等に対応する対応となっております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

田中議員。

○12番（田中立一君）

よろしく申し上げます。

次に行かせていただきます。

避難場所及び避難所については、いろいろと言おうと思ったけども、ちょっとこれじゃあ後に、後というかパス、今回しますね。

ペットの同行避難。今回、ペットを同行避難して、避難場所に逃げたけれども、避難場所では受け入れてくれなかったとか、あるいは断られたというようなケースはあったでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

木島環境生活課長。〔環境生活課長 木島美和子君登壇〕

○環境生活課長（木島美和子君）

お答えします。

今回は自主避難ということで、避難所ではない、通常、避難しないような場所にも逃げられたような方もいらっしゃるというふうに聞いております。

ただ、職員が配置していた避難所等につきましては、そのような受け入れができなかったということはないというふうに考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

田中議員。

○12番（田中立一君）

大体何匹ぐらい、何頭ぐらい、あるいは何人ぐらいの同行避難されたのかな。大体、避難場所へ行って、今、対応されたというのは何か所ぐらい開放されたのかな。できれば、能生、糸魚川、青海の状況を把握されていたら、お願いします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

木島環境生活課長。〔環境生活課長 木島美和子君登壇〕

○環境生活課長（木島美和子君）

まず、同行避難されたペットの数なんですけども、私どもが把握している範囲でお答えさせてもらいたいと思います。

まず、糸魚川地域なんですけども、市民会館、それから糸魚川中学校のほうに数匹のワンちゃんが避難されておりました。それから、能生地域につきましては、能生小学校、それから海洋高校を中心に、数か所で5頭くらい、5頭の避難を確認しております。それから、青海地域につきましては、3か所で、ワンちゃんが4頭、それから猫が2頭ということで把握しております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

田中議員。

○12番（田中立一君）

今ここで気になるのは、まず、受入れ段階においてスムーズに受入れ体制ができて、所有者、飼い主と市の職員との間でうまく調整ができたのかどうかということが一つと、それから、同行避難したことによって、その飼い主、あるいはペットと関係のない一般市民の方とのトラブル、あるいは困り事はあったかどうか、その辺はいかがだったでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

木島環境生活課長。〔環境生活課長 木島美和子君登壇〕

○環境生活課長（木島美和子君）

ペットの同行避難につきましては、国の防災基本計画が修正されておまして、市町村の義務と、努力義務としまして、家庭動物のための避難スペースの確保に努めることというのが追加になっております。このため、各避難所においては、従事する職員の運営マニュアル、避難所の運営マニュアルの中で対応とか、また、注意点等が明記されておりますので、それに沿った対応がされたというふうには思っております。

それから避難者の方の中で、ペットをめぐるトラブルというようなところなんですけども、特段そういう情報は私どもは聞いておりません。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

田中議員。

○12番（田中立一君）

今こういう、先ほど市長答弁を含めてなんですけれども、この地震によって得た情報の中では、ペットがいるから避難しなかったということも聞いているわけなんですけど、そのことについて、非常に重い判断をされたんじゃないかなと思うわけなんですよね。ペットがいるから避難できなくて危ない目にあった、あるいは、よその地域で過去においてそういう被害に遭った方、避難があった方おられる話も聞いたりするんですけれども、こういったことに対する対応をどのように考えているのかなということ、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

木島環境生活課長。〔環境生活課長 木島美和子君登壇〕

○環境生活課長（木島美和子君）

先ほど国の防災基本計画が修正になったというお話をさせてもらったんですけども、やはりペットの飼い主さんの中には、ペットと一緒にいたいというところで、ほかの方への迷惑をかけるんじゃないかというようなご心配もあって、ためられるというような方もいらっしゃるかと思います。

ただ、これに関しましては、私ども、そういう同行避難ができるということ、例えば狂犬病の注射を受ける際のチラシの中に入れていたり、あるいは県の獣医師会でもチラシを作って、動物病院に配置していただいたりというような対応しております。まだそういう方がいらっしゃるということであれば、飼い主さんがペットを連れて、ちゅうちょなく避難できるような体制づくりというのを、いま一度、またやり方を考えていきたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

田中議員。

○12番（田中立一君）

もう一点は、市の職員だけじゃなくて、民間のボランティアだとか、あるいは保健所との連携が大事になってくると思うんですけども、その辺の体制は大丈夫でしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

木島環境生活課長。〔環境生活課長 木島美和子君登壇〕

○環境生活課長（木島美和子君）

1月1日の地震の後、市内在住の認定ペットシッターの方が、災害時のペット対応セミナーというのを2月4日に開催していただいております。今回の地震を受けて、まだまだ市内のペットを飼ってらっしゃる飼い主さんの対応というのが不十分な面もあるし、もっと向上させていきたいという思いでセミナーを開催させていただいたというふうに聞いております。

第2回は、4月の14日に、またヒスイ王国館で開いていただけるというふうに聞いております

ので、また、重ねて市も講演というか、市民周知の面で講演という形で後押ししてまいりたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

田中議員。

○12番（田中立一君）

よろしくをお願いします。

まだいろいろ聞きたいですし、また、次のインクルーシブ、特に福祉避難所の考えを聞きたいんですけども、委員会のほうでもありますので、今回ちょっと残念だけどパスして、一番最後の1次産業、農業。

昨年干ばつで、また、豪雨で地盤が緩んでる中で、この地震ということで心配してるんですけども、春の耕作に間に合わせるには、例えばドローンを飛ばして見てもらいたいとかいう、そういう声も聞くんですが、考えられないでしょうかね、検討してもらえませんか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

星野農林水産課長。〔農林水産課長 星野剛正君登壇〕

○農林水産課長（星野剛正君）

お答えいたします。

農地、林地の災害につきましては、県のほうでも防災ヘリ等、飛ばしまして、大きな被害については確認はされておられません。

ただ、今言われますような畦畔の決壊ですとか、農業用排水路の部分的な決壊というのがあるかなというふうには考えております。ただ、そうしたものにつきましても、雪解け後でも国の補助対象になりますし、また通常、国の災害査定受けてからの工事になるんですけども、今回の場合、特例ということで、応急で国の災害査定前に応急での仮復旧、本復旧もできるということで、国から通達も出ておりますので、そうしたものを最大限に活用いたしまして、農家の皆さんの営農活動にできるだけ支障が生じないように努めてまいりたいというふうに考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

田中議員。

○12番（田中立一君）

そういった対応のことについて、また、春の耕作に間に合うように、ぜひお願いしたいと思えます。ため池の修理のこともありますし、いろいろ聞きたいんですけども、その辺の対応について、農家の方にも説明してもらおうことをお願いして、私の一般質問を終わります。ありがとうございました。

○議長（松尾徹郎君）

以上で、田中議員の質問が終わりました。

暫時休憩いたします。